

三角山の会

SAPPORO-NISHIKO.OG & OB,.....

第8回《三角山の会》開催のお知らせ!

8月8日は8回目

西高卒業10年目に結成された《三角山の会》も今年8回目。つまり卒業してから18年経った訳です。西校を卒業するまでの私達の人生と卒業してからの人生が等しくなったのですね。

でも、ちょっと前の事のように思いませんか? そうなのです、本当にちょっと前の事だったんですよ。《三角山の会》に来てみるとわかります。

今年は札幌の人でもあまり行ったことがないというテレビ塔の2階で開催します。2階と言ってもそこはテレビ塔、普通のビルの9階位かな。札幌夏祭り賑わう大通り公園を見おろしながら今年も盛り上がるのではありませんか。

当日は大通り公園でレーザービームが飛び交うとか、レオタードのギャルが踊り狂うとか、いろいろな情報が乱れ飛んでおりますがとにかくとにかくテレビ塔で逢いましょう。

日時	昭和62年8月8日(土) 午後6時30分
場所	札幌テレビ塔 札幌市中央区大通り西1丁目
会費	5000円

名簿作成の資料となりますので、出欠ハガキには必要事項を必ず記載して7月31日必着でご返送下さい。

この封筒の宛名シールの最下行に印刷されている数字は、貴方の3年生の時のクラスです。

恒例 《三角山の会ゴルフコンペ》のお知らせ

こちらは第4回三角山の会ゴルフコンペです。胸を打つ感動のドラマはないけれど、足を引っ張る野次で名高いコンペティション。

前回優勝者は宮地潤吉君と聞けばいっちょう参加するかの気分になるでしょう。女性も大歓迎です。

尚準備の都合上7月30日までに直接担当者にご連絡下さい。

日時	8月8日(土)
集合	午前10時45分
スタート	午前11時18分
場所	札幌すすらんC.C. 011-591-8296
担当	三木奎吾

(札幌社)

第7回《三角山の会》報告

昭和61年8月9日(土)三川屋会館にて開催された第7回《三角山の会》は、出席者60名と過去最小の規模の宴会となりました。7年目の浮気と言うのでしょうか。しかし鈴木エンマ先生も出席され、また 斯波和子さん・竹崎拓さん・武永純二さん・山崎朝子さんの4人の初出席者を迎えて和やかな内に宴会は進みました。ところが、余興の『嘘つきは誰だ!』6人の出場者が舞台上で同じ物を食べるのですが その中に1つだけ特殊なものが入っていて、それを食べた人を当てるゲーム。今回はわさびの寿司・タバスコ入りのジュース・お酒の代わりに酢)が始まってから盛り上がりだしなにやら異様な兆候を見せ出したのでした。

二次会の『北海道時代』から更に5人程参加して、そこでついに徳州会病院内科医師の矢崎一雄君の『エメラルドの伝説』が飛び出し一気に狂乱状態となってしまったのです。時期悪く当日はススキノ祭りの真っ最中、約50名の舞い上がってしまった団体が入れるのはここしかない、札幌で一番ナウイディスコ『EXCING』へとなだれ込んだのでした。

いま考えますとこれは西高祭のノリでしていまさらながら西高生のだ根性に感嘆した夜でした。と言うところでいったい今年はどうなるのでしょうか。盛り上がらなければ困るし過激に走っても恐いという 幹事は辛いよ。

西高20期関東地区女性の集い 報告

6月7日(日)荻窪の『すみれ家』にてAM11:30より西高20期関東地区女性の集いを行いました。男性のゲスト参加が最初2名の予定が当日に4名となり 合計12名で楽しい一時を過ごしました。おもてなし料理もどこを通ったかという程、話に花が咲き、喉の乾きをビールで潤し、お店の好意でPM5:00まで懐かしさに時間を任せ、その後近くのサテンでPM7:00という盛り上がりでした。

昨年についでの会の成功に、幹事としては本当に嬉しく、参加またご協力いただいた皆様に心より感謝いたしております。

卒業以来初めてという方も多く、在校中一度もお話したことのない方もおりますのに、昔からのそれも昨日まで逢っていたような親しみをもって話せる。これは同期会ならではと又昨年同様『西高は良かった』という結論になりました。家では『あなた』会社では『課長』それが急に『君』最初は戸惑いを感じつつも、まわりを見回してほっと高校時代の話でワイワイ!。 たまに会うのは良いものですね。 - 花田 利恵子 -

編集後記

《三角山の会》8回目。『八』は我が国では好まれる数字です。未広がりと云うことでめでたい数であるとされています。『8』で頭に浮かぶのは『蛸』ですが、よく漫画で描かれるのは頭に鉢巻を締め口を尖らせた愛敬のある姿です。最近話題の後輩、田中裕子のTVコマーシャルでもコミカルなキャラクターで注目された事がありましたね。

ところがこの『蛸』は欧米では『DEVIL FISH』で『悪魔の魚』。不気味で醜悪なイメージがあるようです。もっとも北斉の漫画では欧米のイメージで表現されているのがありましたっけ。

さて《三角山の会》第8回目どのような宴会になるのやら、幹事のアイデアも枯渇してきまして演出に苦労しています。今回はひとつ『テレビ塔』というロケーションに依存しながら、十周年に向けての景気づけに行こうかとも考えています。とは言っても『案ずるより生むが易し』。参加する元西高生のダークフォースによって狂熱の展開になることは歴史が証明しておりますので、乞うご期待!!